

生健会が市議会に陳情 65歳以上の住民税非課税世帯にエアコンを



コロナ禍の陰に隠れた今年の夏の「熱中症」。それでも、北九州市消防局によると、4月26日～9月5日までの熱中症による救急搬送者数は257人にもものぼりました。65歳以上の高齢者は約半数を占め、入院を要する中等症は6割にもなりました。

本市が発行している「熱中症予防のポイント」のトップには、熱中症予防のため「エアコンを利用して暑さを避けましょう」と書かれています。でも、エアコンがない低所得世帯や、エアコンがあっても電気代の工面ができずに熱中症の危険にさらされている市民が沢山います。

そこで生健会は、9月市議会に「65歳以上の住民税非課税世帯に対する、エアコン設置費用と電気代助成制度の創設を求める陳情」を提出しました。



北九州市議会に、陳情を提出する生健会

審議は10月下旬ごろです。市議会を傍聴してみませんか。(裏面に陳情全文を掲載)

「扶養照会しないで!」と、初めて申請しました 「兄弟に生活保護を知られると、親戚付き合いができない」

小倉生健会に「兄弟に生活保護申請を知られたくない」との相談が寄せられ自宅に行って話を伺うと、「兄弟は昔かたぎの性格で、知られると法事などの親戚付き合いができなくなる」とのことでした。

先月号で報告した生活保護申請時の「扶養照会申し出書」を、今回はじめて使って「兄弟への扶養照会をしないで下さい」との申請をしました(右のチェックシート)。

「申し出書」では厚労省の通知にある“概

ね70歳以上”の兄弟3人が該当すること。

60代の弟は“10年以上音信不通”で、独身

扶養照会申請時、チェックシート

項目	1	2	3	4	5	6
扶養照会申請時、チェックシート						
1. 扶養照会申請時、扶養者の氏名						
2. 扶養者の住所						
3. 扶養者の生年月日						
4. 扶養者の職業						
5. 扶養者の収入						
6. 扶養者の扶養者である旨						
7. 扶養者の扶養者である旨						
8. 扶養者の扶養者である旨						
9. 扶養者の扶養者である旨						
10. 扶養者の扶養者である旨						
11. 扶養者の扶養者である旨						
12. 扶養者の扶養者である旨						
13. 扶養者の扶養者である旨						
14. 扶養者の扶養者である旨						
15. 扶養者の扶養者である旨						
16. 扶養者の扶養者である旨						
17. 扶養者の扶養者である旨						
18. 扶養者の扶養者である旨						
19. 扶養者の扶養者である旨						
20. 扶養者の扶養者である旨						
21. 扶養者の扶養者である旨						
22. 扶養者の扶養者である旨						
23. 扶養者の扶養者である旨						
24. 扶養者の扶養者である旨						
25. 扶養者の扶養者である旨						
26. 扶養者の扶養者である旨						
27. 扶養者の扶養者である旨						
28. 扶養者の扶養者である旨						
29. 扶養者の扶養者である旨						
30. 扶養者の扶養者である旨						

で障害者。年金とアルバイトで生活が苦しく“仕送りが期待できない者”として「扶養照会をしないで」と申請し、「扶養照会」は行われませんでした。

初めての取り組みでしたが何とかお役に立つことができました。

小倉生健会
生活と健康を守る
一人はみんなのために、みんなは一人のために

えっふーん 維新・片山虎之助 共同代表が ”月6万円で基礎年金や生活保護を廃止”

「国民に1人6万円のベーシックインカム(最低所得保障制度)を保障する。それに伴い、生活保護や児童手当、基礎年金等を廃止する」と日本維新の会の片山虎之助共同代表が東京新聞のインタビューで語りました。

維新は衆院選の公約原案として、「ベーシックインカム」の導入を打ち出しています。

ベーシックインカムは、生活を維持できる金額であれば評価できる場合もありますが、今回の「維新案」は“所得の再分配”(社会保障を充実させることで、所得の格差を是正する)の機能を破壊し、生存権や社会保障向上の国の義務を定めた憲法25条をないがしろにするものです。

ベーシックインカムについては、本紙の昨年11月号にも掲載しましたが、竹中平蔵氏など、国民に「自助」を押し付けようとする新自由主義的勢力が盛んに主張しています。

自民・公明は、右表のように、社会保障費を削り続けています。国民には踏んだり蹴つたりの政治を変えましょう。



■安倍・菅政権の9年間で社会保障費を 5兆9640億円以上削減

予算編成過程での自然増削減(国費)		計2兆円
13年度	生活保護の生活扶助費削減など	▲3000億円
14年度	診療報酬の実質1.26%減額 生活保護の生活扶助費削減など	▲4000億円
15年度	介護報酬2.27%減額 生活保護の冬季加算削減など	▲4700億円
16年度	診療報酬1.31%減額	▲1700億円
17年度	医療・介護の自己負担の月額上限引き上げ 後期高齢者医療保険料の軽減縮小など	▲1400億円
18年度	生活保護費の段階的引き下げ 診療報酬1.19%減額など	▲1300億円
19年度	生活保護費の段階的引き下げ 介護保険料値上げに伴う国庫補助削減など	▲1300億円
20年度	診療報酬0.46%減額 協会けんぽへの国庫補助削減など	▲1300億円
21年度	後期高齢者医療保険料の軽減縮小など	▲1300億円

法改悪などによる削減(給付費)		計3兆9640億円
年金	13~21年度「マクロ経済スライド」「賃金スライド」「特例水準解消」で実質6.5%減	▲3兆6000億円
医療	14~18年度 70~74歳の患者負担2割化 19年度 後期高齢者医療保険料の軽減縮小	▲2000億円 ▲170億円
介護	15年度 2割負担導入 15年度 施設の居住費・食費負担増 18年度 3割負担導入	▲750億円 ▲700億円 ▲20億円

※削減額が判明しているものだけを計算

表は「しんぶん赤旗」より

北九州市が拒否している生健会の要望を 福岡県が「国に要望する」と回答

生健会福岡県連合会が福岡県と生活保護について交渉した中で、福岡県は「国に対して“改善・見直し”を要望している」として、次の内容を示しました。

- ①冷房器具の支給要件を拡大する。
 - ②共益費を住宅扶助として支給する。
 - ③葬祭扶助の基準額を上げる。
 - ④中古の軽自動車などの保有を認める。
- など、切実なものばかりです。

しかし、北九州市は、「国に対して、ものをいう立場にない」との、冷たい対応を続けています。

65歳以上の住民税非課税世帯に対するエアコン設置費用等の補助制度創設を求める陳情

2021年9月16日
北九州市議会議長 鷹木 研一郎 様

生活と健康を守る会北九州ブロック協議会
議長 波田 千賀子
〒800-0015 北九州市門司区寺内2-5-17
電話 093-391-7380

【趣旨】
北九州市消防局救急部救急課によると、本年4月26日から9月5日までの熱中症による救急搬送者数は257人で、その内、65歳以上の高齢者は約半数を占める132人にもなっています。しかも、屋内での搬送者数は65%、入院を要する中等症は6割にもなります。搬送時間帯は12時から23時までの午後が7割にもなります。このように、本市の熱中症の多くが高齢者であり、発症場所も屋内で時間帯は午後から真夜中に多く、入院を要する中等症も6割を超えるなど極めて深刻です。

本市が発行しているチラシ「熱中症予防のポイント」のトップには「暑さを避けよう」と呼びかけられています。具体的には「エアコンを利用するなど部屋の温度を調整。エアコンの温度設定をこまめに調整。暑い日や時間帯は無理をしない。室温28°Cを目安にエアコンや扇風機を使いましょう」と書かれています。

全国と比較しても気温が高い本市で、熱中症予防のため「エアコンを利用して暑さを避けよう」と言われても、エアコンがない低所得世帯や、エアコンがあっても、電気代の工面ができずに熱中症の危険にさらされている市民が沢山います。

高齢者率が政令市の中で最も高い本市ですが、所得が少ない高齢者にとっては一層深刻です。本市での65歳の一人暮らしの生活保護費は73,590円です。借家の場合は29,000円の住宅扶助費が加わって102,590円です。と

ころが、生活保護を利用できる世帯の中で、生活保護を利用している人の割合である捕捉率は2割といわれており、生活保護を利用していない世帯は、生活保護利用世帯の4倍もいると推測されます。家賃が29,000円以下の借家の多くは二階建てのアパートなどで、昼間は40°Cを超えることも多く、夜になっても気温は下がりません。これが本市における多くの高齢の低所得世帯の実態です。

このような状況の中で、多くの自治体が住民税非課税世帯の65歳以上の市民を対象に、エアコンの設置費用を負担し助成しています。名古屋市は、今年4月、7万1千円を上限に65歳以上の住民税非課税世帯、生活保護利用者世帯などにエアコンの購入・設置費を補助する制度を創設しました。しかも、対象には、エアコンが故障して冷風が出ない世帯も含まれており、病院や施設からの退院、退所者も対象にするなどの気配りがされ

ています。更に、設置事業者を募集し、市内90社の一覧表が公表されています。事業者には、イオンやヨドバシカメラなど大手量販店もありますが、街の電気屋さんが並び、地元業者への支援にもなっています。

については、下記の通り陳情します。

【陳情項目】

1. 本市においても、65歳以上の住民税非課税世帯へのエアコン購入と設置制度を創設してください。
2. 夏季における低所得・高齢者の熱中症予防のため、7~9月の期間、月額3000円のエアコン電気代助成を行ってください。

これが生活保護扶養届書だ

民主主義に反する民法の時代錯誤

国「義務ではない」市「民法が優先」

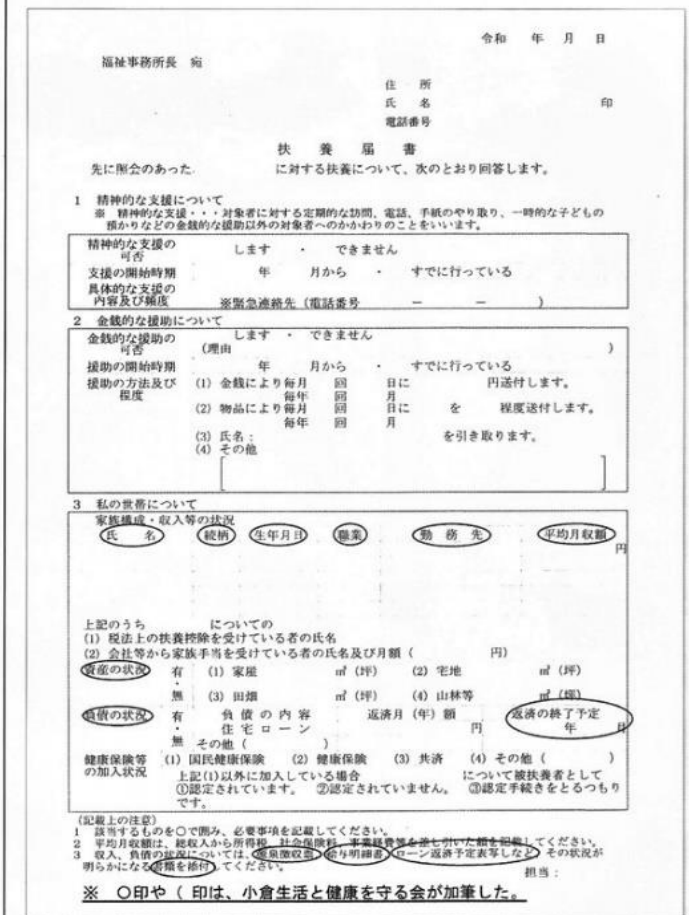
「知」を出した。だが、全国各地の自治体では民法817条と「生活保護法」第4条第2項は「生活保護の前提は親族の扶養」とあるが「扶養は義務」であるか、否か、閉店、廃業、倒産なく、厚労相や厚労省と真反対の言動をしている。左写真は北九州市が使っている「扶養届書」で、生活と健康を守る会が情報開示請求し、分り易くするために加工している。

「民法」が優先で「生活保護法」が後回しにされている。市民生活と健康を守る会が情報開示請求し、分り易くするために加工している。

公平感欠如・市長のお気に入りだけ祝電事件

気に入らなかった議員にだけ祝電を贈り、そうでなければ原資が税金の祝電はやりません」と高らかに高調の調子で政令都市の市長がやっていた。政治家の余給もよくない。政府家の余給もよくない。共産党会派・前助長の石田康高さん40年間市議員を務めてきた共産党外の祝電を「知らなかった」と言

市議員が祝電を贈るという、公平感欠如・市長のお気に入りだけ祝電事件。市長が祝電を贈るという、公平感欠如・市長のお気に入りだけ祝電事件。



政治を変えよう！集会
10月10日 17時

市民を幸せにしない政治御法度

「小倉タイムス」で、生健会の市議会陳情を大きく取り上げていただきました。「小倉タイムス」を読めば北九州のことがよくわかります。3回/月発行されています。半年5000円（郵送料含む）です。購読申し込み：福岡県北九州市小倉北区田町12-15 大明ビル3F TEL:093-953-6061 メール: kokuratimes@spice.ocn.ne.jp



発行所 北九州市小倉北区田町12-15 大明ビル3F 小倉タイムス 電話 (953) 6061 FAX (953) 6062

を陳情した。当初、保護課長は扶養届書の様式は変えるつもりはない、と答弁していたが、市議会保健福祉委員会委員から現物の扶養届書を見れば、最後には保健福祉局長が「頑なに変えない」とうことではなかった。市議からも初めに「扶養届書」の方角に至った。市議からも「扶養届書」は必要なのか、申請をためらわせるものではないのか。2006年から3年にわたり生活保護申請をめぐり、申請書が買えず、或いは途中で保護打ち切りとなり、餓死する事件が連続し、全国に「冷たい北九州市」の烙印を押し込まれた過去がある。